

三菱電機パッケージエアコン

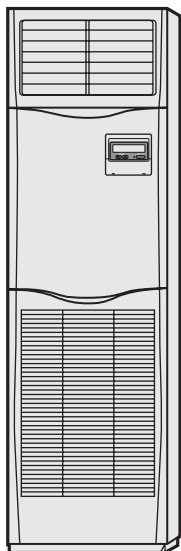
室内ユニット 冷媒R32/R410A対応

形名

PS-RP・KA13

取扱説明書

Mr. SLIM



PS-RP・KA13

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	4

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた	6
自動運転、換気運転のしかた	8
簡易タイマー運転のしかた	9
消し忘れ防止タイマー運転のしかた	11
操作ロックのしかた	12
その他表示・点滅について	12
リモコン機能選択のしかた	13
もっと知りたいとき	15
上手な使い方	16

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな？」と思ったら	17
お手入れのしかた	19
長期間で使用にならないとき	20
移設・工事について	20
保証とアフターサービス	21
ご相談窓口	22
仕様	24

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書および保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。



This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.



No servicing is available outside of Japan.

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

 禁止	 アース線接続
 指示を守る	 水濡れ禁止
 濡れ手禁止	

警告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。



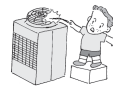
濡れた手で電源ブレーカーを操作しない
感電の原因になります。



お客さま自身で分解・改造・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気へ放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。



吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



エアコンおよびリモコンを水洗いしない
ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電や発火の原因になります。



こげ臭い場合や、お手入れ、点検時以外は、電源ブレーカーを切らない
冷媒の漏えいを検知できなくなり、火災の原因となります。



万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う
冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



リモコンに"冷媒センサー"の表示がでたら、冷媒センサーを交換する
お買上げの販売店に連絡してください。冷媒の漏えいを検知できない冷媒センサーを使い続けると、万一冷媒が漏れ出した時に火災の原因になります。



清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源ブレーカーを切る
ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない
粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因にもなります。



直接風にあたる所に燃焼器具を置かない
不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



室内ユニットの金属部にさわらない
フィルターを外したときにケガの原因になります。



室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



特殊用途に使用しない
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



直接風があたる所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。



エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない
熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。



フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。



煙やガス・薬剤が立ち込める場所に設置しない
プロパン・ブタン・メタンなどのガス機器および殺虫剤などのスプレー類、塗料を室内ユニットの近くで使用しない
冷媒センサーが検知し、異常を表示するため運転できない場合があります。



フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。



安全のために必ずお守りください

注意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

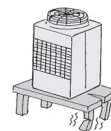
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

エアコンの下方に食品や食器を置かない

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。



禁止

清掃のときは運転を止め、電源ブレーカーを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。



換気・送風運転

据付時 次の項目をご確認ください。

警告

据付や移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。



禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。



禁止

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください



据付け

元電源の取付位置を確認する



元電源

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断機

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンで使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万一冷媒が漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●次の場所への据付けは避けてください

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輛・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

(このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

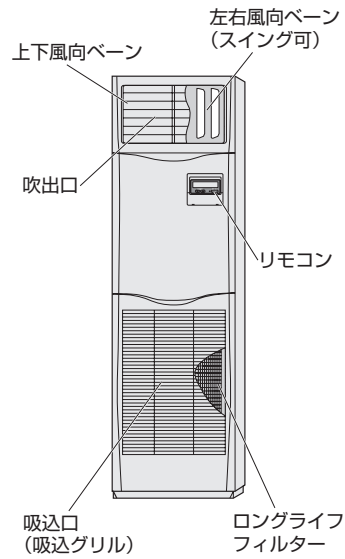
安全のために必ずお守りください

● お使いになる前に 各部のなまえ

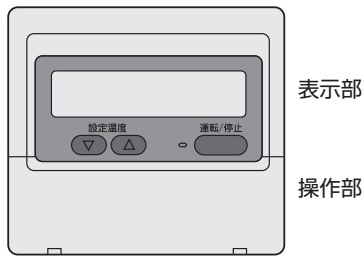
各部のなまえ

室内ユニット

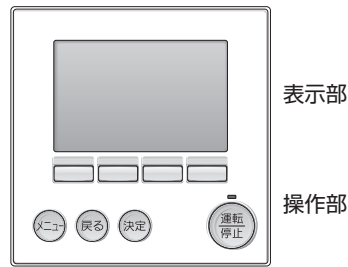
	PS-RP・KA13形
風速	3速（自動可）
上下風向調節	手動
左右風向調節	自動（スイング可）
ロングライフフィルター	○
フィルタークリーニングサイン積算時間	2500時間



リモコン



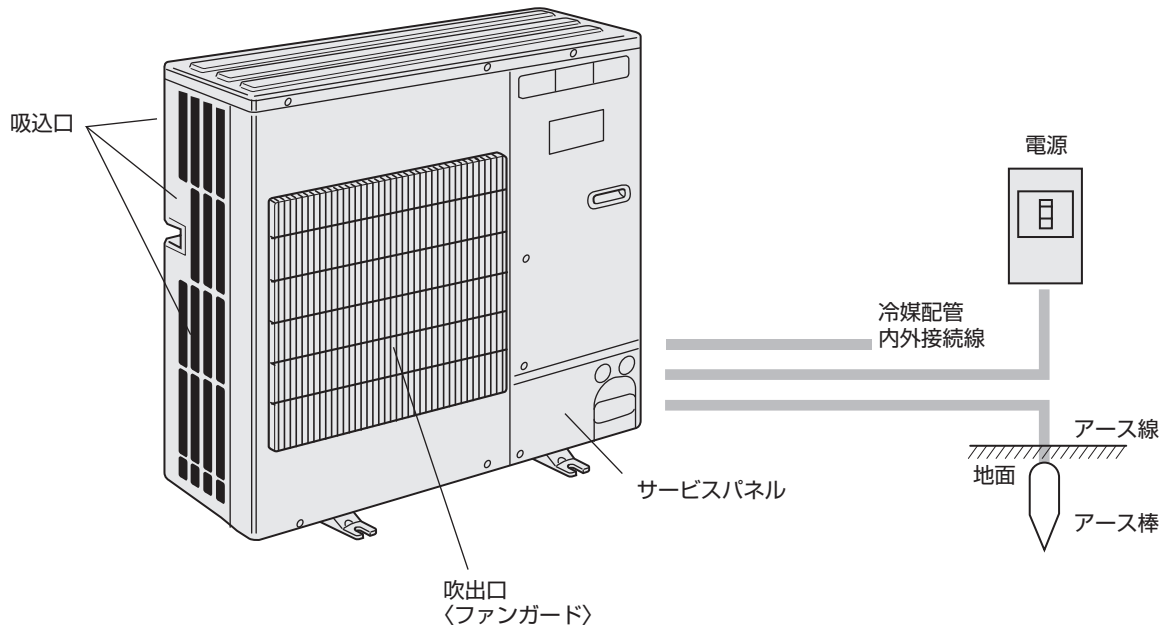
ワイヤードリモコン
(室内ユニットに内蔵)



MAスマートリモコン
(別売部品)

※操作方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。

室外ユニット

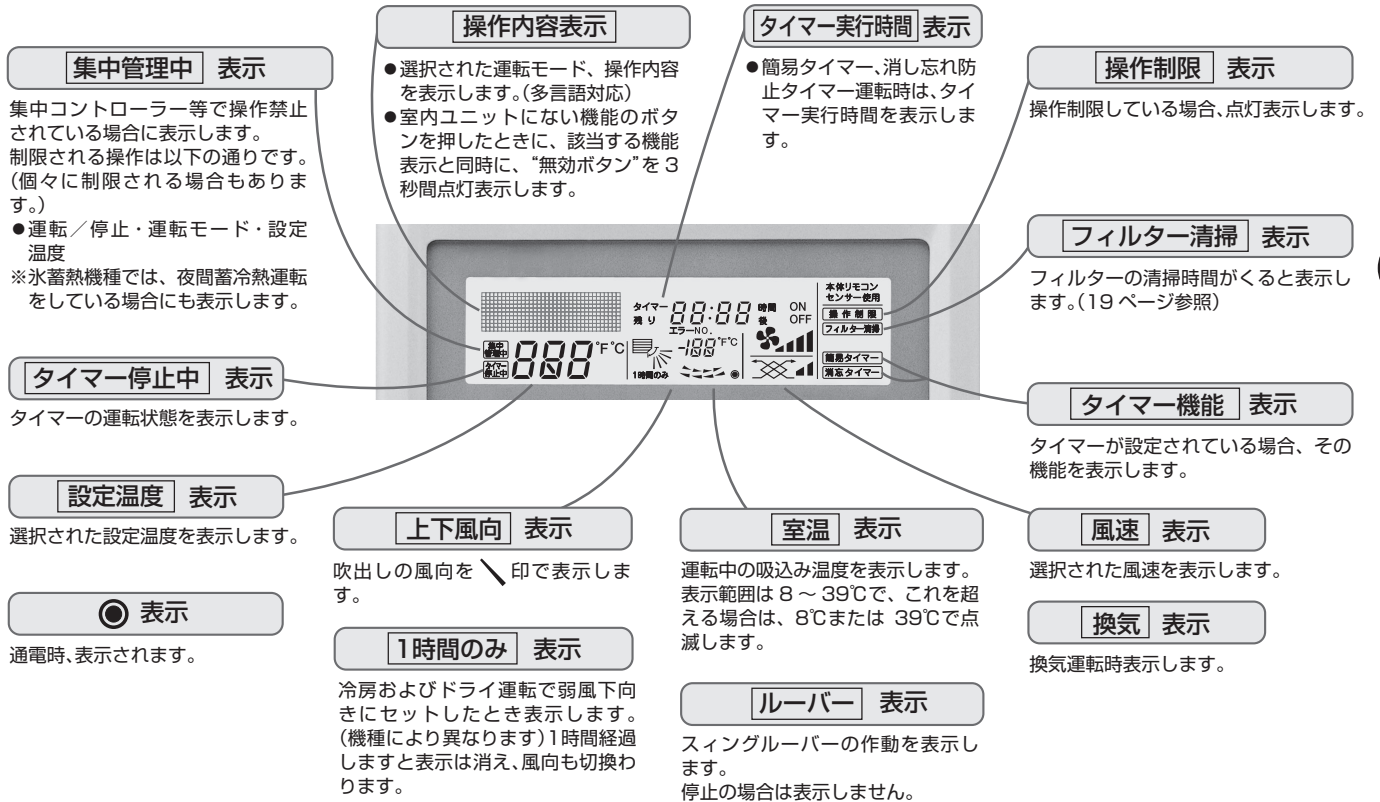


ワイヤードリモコン (室内ユニットに内蔵)

表示部

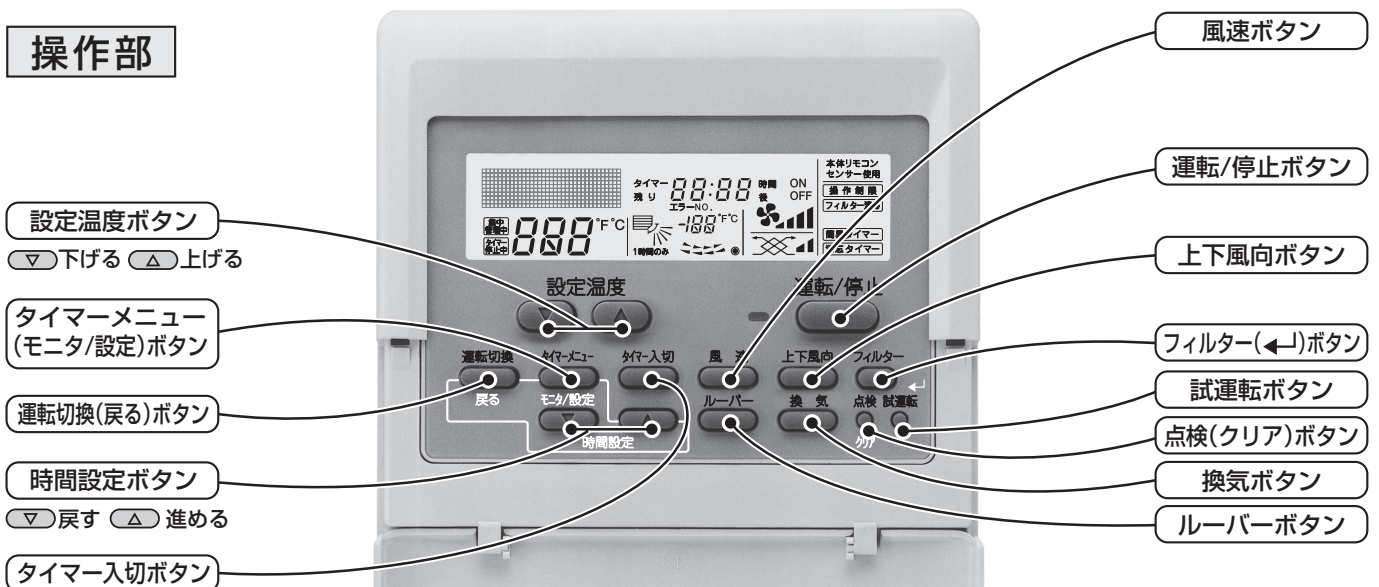
※操作部、表示部はMAスムーズリモコンを記載しています。

(説明のためすべての表示内容を示しています。)



各部のなまえ

操作部



- “PLEASE WAIT” 表示 (初期設定中)
電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。
- “無効ボタン” 表示
室内ユニットに機能がないボタンを操作した場合に表示されます。
1個のリモコンで2種類以上の室内ユニットを同時運転している場合は、1台でも機能を装備した室内ユニットがあれば表示されません。

お願い

■ 付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所にはリモコンを取付けないでください。

● 運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた



運転モード表示

❄️冷房 🌞ドライ 🌀送風 🔄自動
❄️冷房 🌞暖房 ❄️暖房 🌀換気
【自動(冷房)モード】 【自動(暖房)モード】

運転状態表示

暖房準備中 交互に表示
❄️暖房 ↔ 準備中
霜取中 交互に表示
❄️暖房 ↔ 霜取中

運転の開始、運転モードを選ぶとき

運転開始したいとき **○ (運転/停止) ボタン**を押す。

運転ランプと表示が点灯します。

運転モードを変えたいとき ... **⏪ 運転切換** ボタンを押す。

1回押すごとに設定が切替わります。



- ※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。リモコンの機能選択(13ページ参照)で自動モード使用無し設定の場合は表示されません。
- ※2 換気装置が連動されていない場合は、表示されません。換気装置が連動されている場合は、全ての運転モードで連動しています。

設定温度を変えたいとき

温度を下げたいとき **▽ ボタン**を押す。

温度を上げたいとき **△ ボタン**を押す。

- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 温度設定範囲は次の通りです。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

- ※1 リモコンの機能選択(13ページ参照)で温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。範囲を超えて設定しようとした場合、“温度制限”が点滅表示され、制限中であることが表示されます。

お願い

- リモコンを先のとがった物で押さないでください。故障の原因になります。

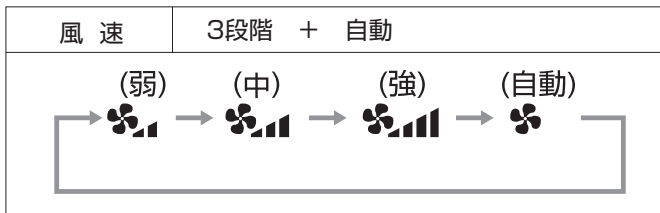


運転開始の前に... 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事、また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

風速を変えたいとき

風速 ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定が切替わります。



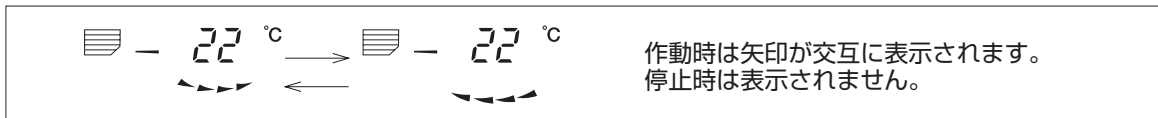
お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 - “暖房準備中”・“霜取中”表示のとき
 - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - 暖房運転直後(モード切替待機中)
 - ドライモードのとき

左右風向を変えたいとき

ルーバー ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定が切替わります。

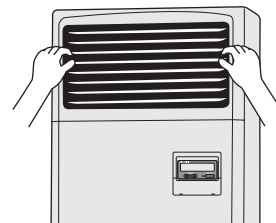


- 作動時…風を自動的に左右に拡散します。
- 停止時…風を任意の方向で固定します。

[手動] 上下風向を変えたいとき ※ (上下風向) ボタンは使用できません。

上下風向ベーンの両端に手をかけて操作します。通常、冷房・ドライ運転の場合には、正面吹出し、または上吹出しにし、暖房運転の場合は下吹出しにしてください。

※ 上下風向調節時、最上部・最下部の横ルーバーは連動しません。



注意

フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
 落下・転倒によるケガの原因になります。
 フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



お願い

- 上下方向の風向調節は、据付時に調節したあとにはなるべく操作しないでください。

運転を停止するとき

(運転/停止) ボタンを押す。

リモコン設定内容

- 再運転時は右記設定となります。

	初期設定	再運転時内容
運転モード	送風	前回の運転モード
設定温度	—	前回の設定温度
風速	強	前回の設定風速

お願い

- 運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。



自動運転を行うとき

1 (運転/停止) ボタンを押す。

2 (運転切換) ボタンを押す。

表示を 自動にする。※1※2

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(15 ページ参照)

※1 運転モードが確定した後に、現在の運転モード [自動(冷房)モード、自動(暖房)モード] が表示されます。(6 ページ参照)

※2 リモコンの機能選択(13 ページ参照)で自動冷暖表示設定が無し設定に変更されている場合には、自動(冷房)、自動(暖房)の表示はされません。

換気運転を行うとき

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき

(運転/停止) ボタンを押す。

- 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

●換気装置の単独運転を運転するとき

1 (運転/停止) ボタンを押す。

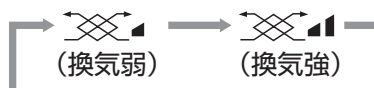
2 (運転切換) ボタンを押す、運転モードの表示を 換気にする。

- 換気単独運転を開始します。

●換気操作の風速を変えたいとき

(換気) ボタンを押す。

- 1 回押すごとに右記のように切換わります。



お知らせ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

● 運転のしかた 簡易タイマー運転のしかた

■簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。

- 入タイマー運転 運転開始時間のみをタイマーで行う。
- 切タイマー運転 運転終了時間のみをタイマーで行う。
- 入 ⇄ 切タイマー運転 運転開始/終了時間をタイマーで行う。

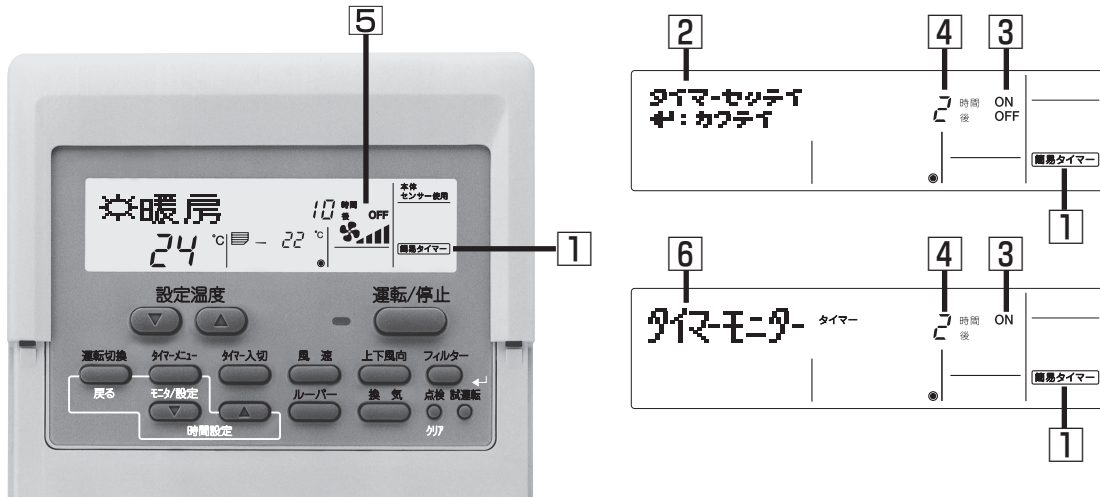
■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。

設定時間は、1時間単位です。

※1 簡易タイマー、消し忘れ防止タイマーの併用はできません。

※2 下記の場合、タイマー運転は実行されません。

タイマー停止中/異常中/試運転中/リモコン診断中/機能選択中/タイマー設定中/集中管理中(運転/停止操作禁止)



簡易タイマー設定のしかた

- 1 **簡易タイマー** が 1 に表示されていることを確認します。
- 2 **タイマーメニュー** ボタンを押し、設定画面表示 “**タイマーセット**” 2 を表示させます。
タイマーメニュー ボタンを押す毎に、“**タイマーモニター**”、“**タイマーセット**”と表示が切り替わります。
- 3 **(運転/停止)** ボタンを押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。
(運転/停止) ボタンを押す毎に、3 の表示が“時間後 ON”、“時間後 OFF”と切り替わります。
 ●入タイマー(運転開始時間の設定表示)：“時間後 ON”
 ●切タイマー(運転終了時間の設定表示)：“時間後 OFF”
- 4 **時間設定** ボタンを押し、入タイマーまたは切タイマーを時間設定(4表示)し、**フィルター** (←) ボタンを押し時間を確定させます。
 設定範囲時間は、1～72時間です。
 ※1 入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は、“- -”表示の状態としてください。
 ※2 設定した時間を取り消すときは**点検**(クリア)ボタンを押し、時間を“- -”と表示させた後、**フィルター**(←)ボタンを押し確定させてください。
- 5 入切タイマーを両方使用するときは、上記 3 4 で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
 ※入切タイマーを同時間に設定することはできません。
- 6 **運転切換** ボタンを押し、タイマー設定が完了します。
- 7 **タイマー入切** ボタンを押すと、簡易タイマー運転開始となり設定されたタイマー実行時間が 5 に表示されます。

簡易タイマーを確認するとき

- 1 **簡易タイマー** が 1 に表示されていることを確認します。
- 2 **タイマーメニュー** ボタンを押し、モニター表示画面 “タイマーモニター” 6 を表示させます。
 3 4 に設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
 入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示します。
- 3 **運転切換** ボタンを押し、タイマーモニター表示が終了します。

簡易タイマー運転を停止(解除)するとき

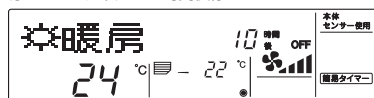
- タイマー入切** ボタンを押し、タイマー実行時間表示 5 を消灯させます。

簡易タイマー設定表示例

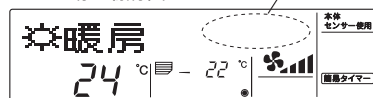
入タイマー運転：2 時間後運転開始



切タイマー運転：10 時間後停止



タイマー停止(解除)中



入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示

例 1：入タイマーから開始する場合

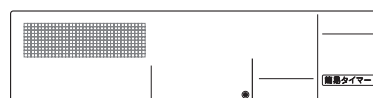
入タイマー設定時間：3 時間後 ON
 切タイマー設定時間：7 時間後 OFF



タイマー開始
 入タイマー時間を表示



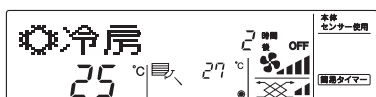
3 時間後
 切タイマー時間を表示
 (表示される時間は、(切タイマー設定時間)-(入タイマー設定時間)です)



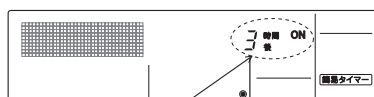
7 時間経過以降は操作があるまで停止のままとなります。

例 2：切タイマーから開始する場合

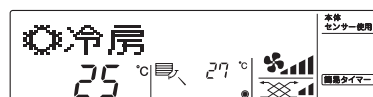
入タイマー設定時間：5 時間後 ON
 切タイマー設定時間：2 時間後 OFF



タイマー開始
 切タイマー時間を表示



2 時間後
 入タイマー時間を表示
 (表示される時間は、(入タイマー設定時間)-(切タイマー設定時間)です)



5 時間経過以降は操作があるまで運転のままとなります。

■ 消し忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過した時に自動的に空調機を停止させます。

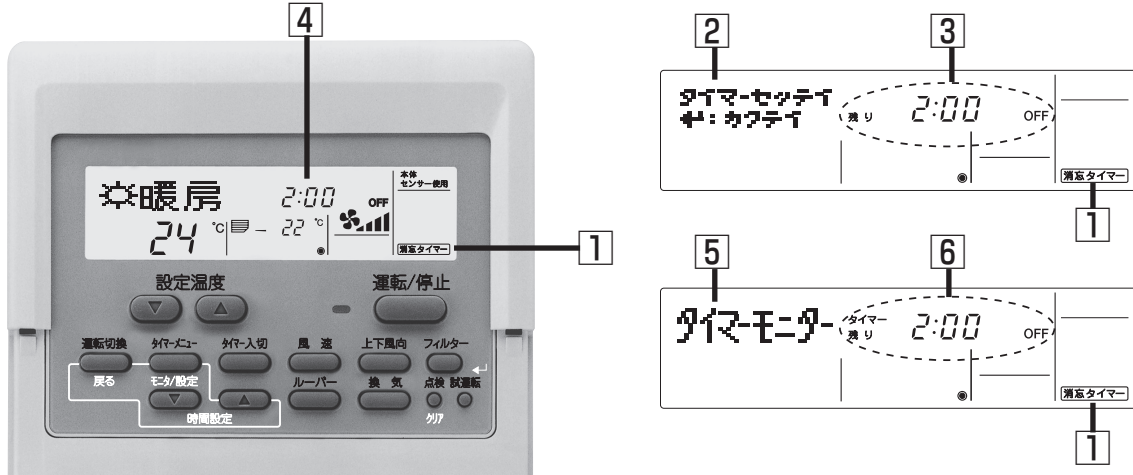
■ 消し忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。設定時間は、30分単位です。

リモコンのタイマー機能設定は、簡易タイマーが標準設定（初期設定）となっています。消し忘れ防止タイマーをご使用になる場合は、リモコンの機能選択（13ページ参照）でタイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーに変更を行ってください。

※1 消し忘れ防止タイマーを選択した場合、簡易タイマーは使用できません。（簡易タイマー、消し忘れ防止タイマーの併用はできません。）

※2 下記の場合、タイマー運転は実行されません。

タイマー停止中／異常中／試運転中／リモコン診断中／機能選択中／タイマー設定中／集中管理中（運転／停止操作禁止）



消し忘れ防止タイマーの設定のしかた

- 1 リモコンの機能選択(13ページ参照)で、タイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーに設定をします。
消忘タイマー が 1 に表示されていることを確認します。
- 2 **タイマーメニュー** ボタンを3秒押し、設定画面表示 “タイマー-セット” 2 を表示させます。
タイマーメニュー ボタンを押す毎に、“タイマー-モニター”、“タイマー-セット” と表示が切替わります。
- 3 **時間設定** (時間設定) ボタンを押して、切タイマー(運転終了時間) 3 を設定し、**フィルター** (←) ボタンを押して時間を確定させます。
設定範囲時間は、30分～4時間です。(30分単位)
※時間を確定せずに、下記 **時間設定** の操作を行ってしまった場合は設定した内容はキャンセルされます。
- 4 **運転切換** ボタンを押して、タイマー設定が完了します。
- 5 運転を開始すると、消し忘れ防止タイマー運転が開始となり、設定された時間が 4 に表示されます。
運転開始後、残り運転時間は 1 分毎に更新され表示します。

消し忘れ防止タイマー設定を確認するとき

- 1 **消忘タイマー** が 1 に表示されていることを確認します。
- 2 **タイマーメニュー** ボタンを3秒押し、モニタ画面表示 “タイマー-モニター” 5 を表示させます。
設定されている切タイマー時間が 6 に表示されます。
- 3 **運転切換** ボタンを押すと、タイマーモニター表示が終了します。

消し忘れ防止タイマーを停止(解除)するとき

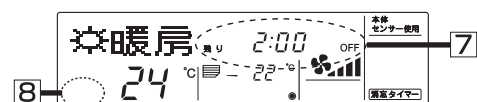
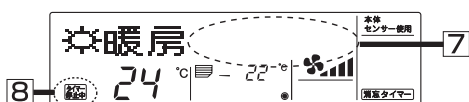
タイマー-入切 ボタンを3秒押し、タイマー実行時間表示 7 を消灯させます。

消し忘れ防止タイマーを停止(解除)中に運転を行っている時は、タイマー停止中 8 が表示されます。

消し忘れ防止タイマーを再度開始させるとき

タイマー停止中に **タイマー-入切** ボタンを3秒押し、タイマー停止中 8 の表示を消灯、タイマー実行時間表示 7 を点灯させます。

タイマー実行時間は、前回の設定時間が表示されます。



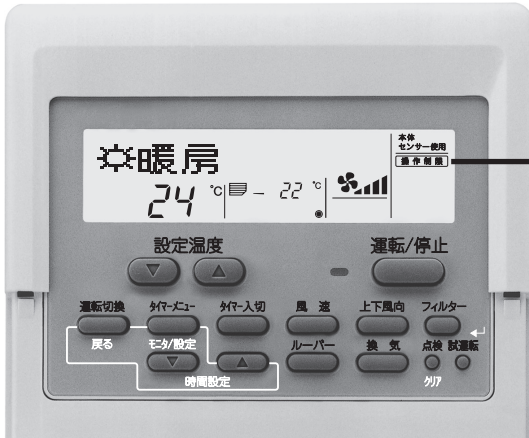
● 運転のしかた 操作ロックのしかた

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。

操作ロック機能には次の2つがあります。

- ①全ボタンロック : リモコンの全てのボタン操作をロックします。
- ②運転/停止ボタン以外ロック: 運転/停止ボタン以外の操作をロックします。

操作ロックをご使用になる場合は、リモコンの選択機能(13ページ参照)で操作制限機能(操作ロック)の設定を行ってください。リモコンの操作制限機能設定は、操作ロック設定なし(OFF)が標準設定(初期設定)となっています。



お知らせ

操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。

1 操作制限設定表示

操作ロック設定のしかた

- 1 リモコンの機能選択(13ページ参照)で、操作制限機能設定(操作ロック)をno1またはno2に設定します。

no1: 運転/停止ボタン以外の操作をロックします。
no2: リモコンの全てのボタン操作をロックします。

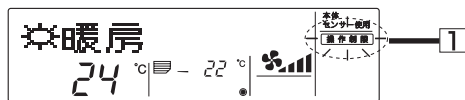
- 2 **フィルター** ボタンを押しながら **運転/停止** ボタンを2秒押します。

操作制限 1が点灯し、リモコンの機能選択で設定した操作ロック設定が有効となります。

リモコンの機能選択で“操作ロック設定なし”が選択されている場合は“無効ボタン”が点灯表示します。

※操作ロック中に、ロックされているボタンを操作したときは、

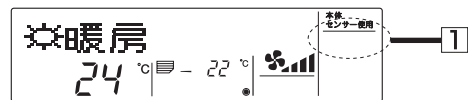
操作制限 1が点滅表示します。



操作ロック設定を解除するとき

- 1 **フィルター** ボタンを押しながら **運転/停止** ボタンを2秒押します。

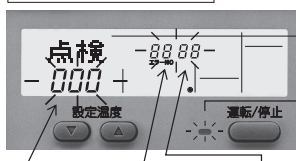
操作制限 1が消灯し、操作ロック設定が解除されます。



● 運転のしかた

その他の表示・点滅について

エラーコードの点滅



室外ユニット エラーコード 室外ユニット No.
冷媒アドレス No. 交互表示

リモコンの機能選択(13ページ参照)で、“異常時の連絡先”が設定されている場合は、連絡先の電話番号が表示されます。

●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。

ユニット No.、エラーコードをご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。



エラーコード

点検ボタン押し時の表示



●「エラーコード」のみが点滅している場合(運転ランプは点灯したまま)空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。エラーコードをご確認の上、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

※リモコンの機能選択(13ページ参照)で、“異常時の連絡先”が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号が表示されます。

その他の表示・点滅について

● 運転のしかた リモコンの機能選択のしかた

リモコンの機能選択モードでは下記リモコンの機能を設定変更できます。
以下からはMAスムーズリモコン(室内ユニットに内蔵)時の設定内容を記載しています。

大項目	中項目	小項目
1. 言語切替 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・多言語表示ができます。
2. 機能制限	(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2) 自動モード使用設定	・運転モード「自動」使用有無を設定します。
	(3) 温度範囲制限設定	・温度調節範囲の (上限・下限値) を設定します。
3. 基本機能	(1) リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※ 1 グループ 2 台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2) タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(3) 異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切替	(1) 温度表示℃/°F 設定	・表示する温度単位 (℃/°F) を設定します。
	(2) 吸込み温度表示設定	・室内 (吸込み) 温度表示の有無を設定します。
	(3) 自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

リモコンの機能選択の流れ

[1] 空調機を停止状態にして、リモコンの機能選択モードに移行する ➡ [2] 大項目を選択する ➡ [3] 中項目を選択する ➡ [4] 小項目 (内容を設定する) ➡ [5] 設定完了 ➡ [6] 通常画面に移行する (終了)

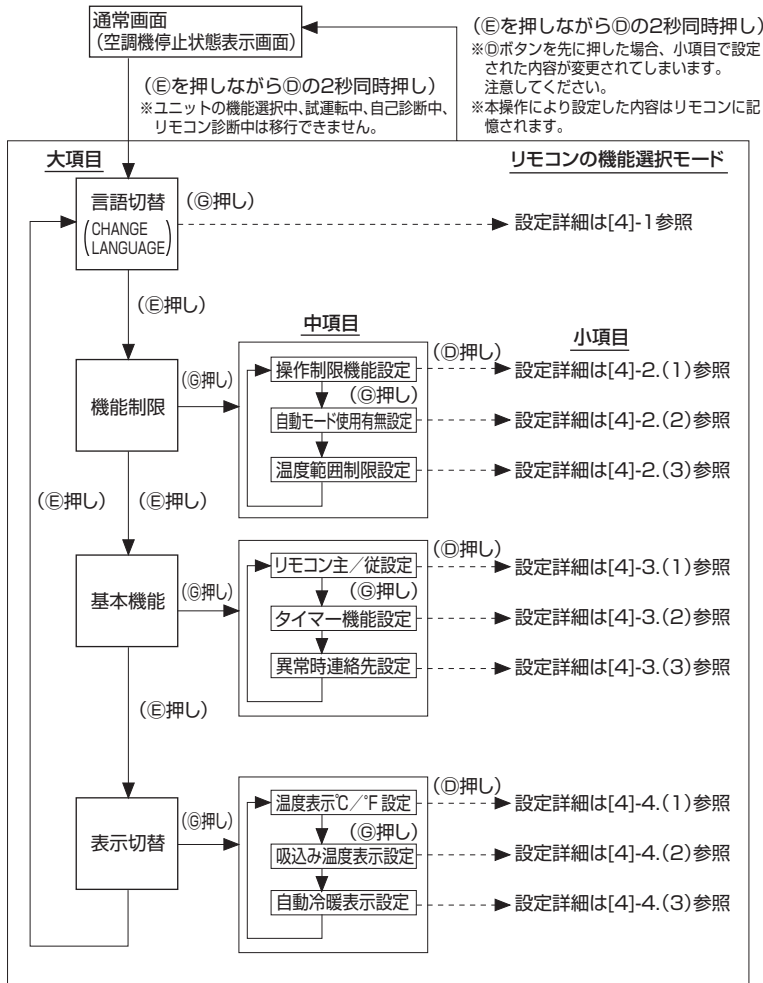


図1

お知らせ

リモコンの機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

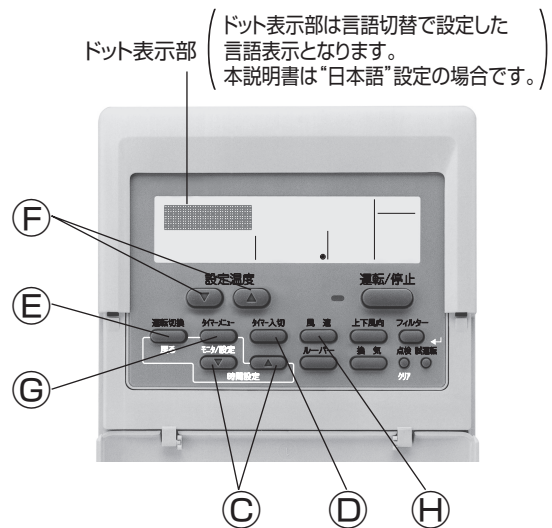


図2

設定詳細

[4]-1.言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、
- ④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、
- ⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2.機能制限設定

(1)操作制限機能設定(操作ロック)

タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
- ②no2 : 全ボタン操作ロックとなります
- ③OFF(初期設定値): 操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作(フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2)自動モード使用設定

運転モード自動が有るユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①ON(初期設定値) : 運転モード操作時に自動モードを表示します。
- ②OFF : 運転モード操作時に自動モードを表示しません。

(3)温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①冷房モード : 冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
- ②暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
- ③自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
- ④OFF(初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

・設定温度△ボタン、または設定温度▽ボタン⑥を押す毎に設定値がアップ、ダウンします。

・風速ボタン⑨を押して上限値設定、下限値設定の選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。

・設定範囲

冷房・ドライモード	下限値	: 19℃~30℃
	上限値	: 30℃~19℃
暖房モード	下限値	: 17℃~28℃
	上限値	: 28℃~17℃
自動モード	下限値	: 19℃~28℃
	上限値	: 28℃~19℃

[4]-3.基本機能設定

(1)リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①主: 主設定となります。
- ②従: 従設定となります。

(2)タイマー機能設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

(いずれか一つを選択)

- ①タイマーケシワスレ ポウシ : 消し忘れ防止タイマー使用可能となります。
- ②タイマーカンイ (初期設定値
MASムースリモコン時) : 簡易タイマー使用可能となります。
- ③タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。

(3)異常時の連絡先設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①CALL・OFF : 異常中に、設定した電話番号は表示されません。
- ②CALL・0120 *** ** : 異常中に、設定した電話番号を表示します。
- ③CALL : 左記表示時に、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

③設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。

点滅しているカーソル()を移動して、数字を設定します。

設定温度△(▽)ボタン⑥を押してカーソルを右(左)に移動させます。

時間設定△ボタンまたは時間設定▽ボタン⑩を押して、番号を設定します。

最大12桁の数字が入力できます。

[4]-4.表示切替設定

(1)温度表示℃/°F 設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①℃: 温度表示単位をセ氏表示にします。
- ②°F: 温度表示単位を華氏表示にします。

(2)吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①ON : 吸込み温度を表示します。
- ②OFF : 吸込み温度は表示されません。

(3)自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタン⑩を押して下記内容を切替えます。

- ①ON : 自動モード運転時、「自動冷暖」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
- ②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- ミスタースリムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転(ドライ運転)を行います。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切り替えが行われ、リモコンでは設定できません。
- ドライ運転動作内容
 1. お好みの室温になるまで…
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
 2. お好みの温度になると…
圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続き、湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
- 風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
- 風が出ない：ワイヤードリモコンに“霜取中”表示中は風を出しません。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後最大約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

ミスタースリムの使用温度範囲

		室内	室外 ^{*1}
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	—
暖房	乾球温度	17℃～28℃	-11℃～21℃
	湿球温度	—	-12℃～15℃

※1 室外ユニットにより表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等で確認ください。

霜取運転とは

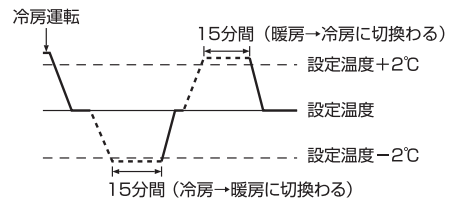
- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っています。霜取り運転中はリモコンに「霜取中」を表示します。霜取り運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
- 霜取り運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
この間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取り運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

運転停止後の霜取りについて

- 暖房運転停止後、霜取運転を行います。運転停止後に霜を溶かすことで、次回起動時の立ち上がり時間が早くなります。
※リモコンに霜取中の表示はされません。

自動運転とは

- 設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切り替わります。
また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切り替わります。



換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

パワーシェア運転とは

- この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最小になるように圧縮機を制御します。
- この機能は2～4冷媒系統が1グループの場合に設定できます。5冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。
- 設定方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。

スマートデフロスト運転とは

- 各冷媒系統が同時に霜取運転にならないように協調します。ただし、条件によっては同時に霜取運転する場合があります。
- この機能は2～4冷媒系統が1グループの場合に働きます。5冷媒系統以上が接続される場合は働きます。

暖房プレヒートとは

- 霜取り運転中の室内温度低下を抑えるため、霜取り運転を行う直前に強めの暖房を行い、室温をあげる運転を行います。
- 外気温度、霜の付き具合、霜取り直前の運転状態によっては効果を得られない場合があります。

静音自動モードとは

- 風速自動設定時、静音性を優先した運転をします。静音自動モード中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合は、静音自動モードを通常にしてください。
- この機能の設定には別売のMAスマートリモコンが必要となります。設定方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。

もっと知りたいとき

● 運転のしかた 上手な使い方

上手な使い方 “ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



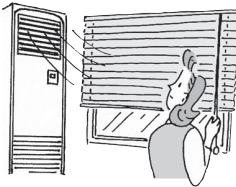
中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎると感じる場合があります。ドライ運転をご利用ください。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入り口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付・露たれの原因にもなります。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。
(19ページ)



● お手入れのしかた・困ったときに「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします
よく冷えない。よく暖まらない。	<ul style="list-style-type: none">■ フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです)■ 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。■ 室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？■ 窓やドアが開いていませんか？■ 圧縮機の予熱中です。外気温度が-20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で12時間運転できない場合があります。(※PUZ-HRMP80~160形の場合)
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。	<ul style="list-style-type: none">■ 十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	<ul style="list-style-type: none">■ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	<ul style="list-style-type: none">■ エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	<ul style="list-style-type: none">■ 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	<ul style="list-style-type: none">■ エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。
室内ユニットより白い霧がでる。	<ul style="list-style-type: none">■ 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。■ 霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。
室外ユニットより水が出る。	<ul style="list-style-type: none">■ 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。■ 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。■ 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。
リモコンの運転表示が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">■ 電源開閉器を入れてください。表示部に“◎”が表示されます。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	<ul style="list-style-type: none">■ “集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	<ul style="list-style-type: none">■ 約3分間お待ちください。(エアコンを保護するため、止まっています。)

故障かな？

お答えします

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

- 入タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- “集中管理中”の表示が点灯していませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
- 停電自動復帰を設定していませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。

室内ユニットのファンが運転し、
運転／停止ボタンを押しても停止しない。

- 室内ユニットから冷媒が漏れいしているおそれがあります。
冷媒が漏れいすると自動でファンを運転します。
電源ブレーカーを切らずに、部屋を換気し、お買上げ販売店に連絡してください。
- ガス機器（プロパン・ブタン・メタン等）やスプレー類を室内ユニットの近くで使用していませんか？
冷媒センサーが検知し、ファンが運転することがあります。
お買上げ販売店に連絡してください。

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

- 切タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
- 遠方コントロールが接続されていませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
- “集中管理中”の表示
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

停止ボタンを押したのに室外機が動いている。

- 運転停止後の霜取りを行っているためです。
霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。

リモコンのタイマー運転がセットできない。

- タイマー設定が無効になっていませんか？
タイマー設定がセット可能なときは、**暖房タイマー**、**凍結タイマー**、**通風タイマー**のいずれかが表示されています。

リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。

- 初期設定(約3分)を行っているためです。

リモコンにエラーコードが表示される。

- 保護機能が作動してエアコンを保護しています。
 - ・自分では絶対に修理しないでください。
 - ・こげ臭い場合は、電源ブレーカーを切り、お買上げ販売店に連絡してください。
 - ・その他の場合は、エアコンの電源ブレーカーを切らずに、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。(表示がFLの場合は、室内ユニットのファンが運転し続けます。この場合は、冷媒漏れいのおそれがありますので、電源ブレーカーを切らずに、部屋を換気し、お買上げ販売店に連絡してください。)

リモコンに“**レイバィセンサー**”の表示が出ている。

- 冷媒センサーの交換時期ですので、お買上げ販売店に連絡してください。

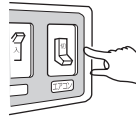
騒音が仕様値よりも高い。

- 室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につきに示します値程高くなります。(SPL値)
- | | 吸音効果の高い部屋 | 普通の部屋 | 吸音効果の低い部屋 |
|--------|-------------|-------------|--------------|
| 一般例 | 放送スタジオ、音楽室等 | 応接室、ホテルロビー等 | オフィス、ビジネスホテル |
| 騒音アップ値 | 3~7dB | 6~10dB | 9~13dB |

● お手入れのしかた・困ったときに お手入れのしかた

お手入れのまえに

■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースは取外さないでください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



フィルターの清掃

注意 ●清掃のときは運転を止め、電源ブレーカーを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

注意 ●フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。
フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。

注意 ●フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

お願い

■フィルターを取外した状態で運転をしないでください。
内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

1 電源ブレーカーを切る。

2 フィルターを取外す。

1 吸込グリル取手部のネジを外し、
吸込グリルを矢印の方向に開いて
ください。

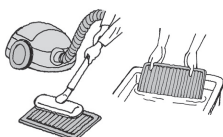
2 吸込グリルを開いてください。

3 フィルターの取手を持って、
矢印の方向に引き上げて外してくだ
さい。

3 フィルターのホコリを掃除機
で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶か
した、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでく
ださい。変形することがあります。



4 水洗いをしたあと、日陰でよく乾
かす。

■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾か
さない。

5 フィルターを元の状態に取付ける。
（取外しの逆の手順）

6 電源ブレーカーを入れる。

フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅
させて清掃時期をお知らせします。

運転時間
2500時間



“フィルター清掃”表示

“フィルター清掃”表示
リセットボタン

“フィルター清掃”表示をリセットする

1 フィルター清掃後 **フィルター** ボタンを
2度押しと表示が消えリセットされ
ます。

■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。
表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。

■2台以上での形の異なる室内ユニットを操作する場合、接
続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期
がくれば“フィルター清掃”が表示されます（ロングライフ
フィルター：2500時間）。表示を消すと全てのユニット
の運転がリセットされます。

■運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な
室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間
で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れ
の程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してくだ
さい。

お手入れのしかた

● お手入れのしかた・困ったときに 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

1 4~5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



2 電源ブレーカーを切らない。

警告

こげ臭い場合や、お手入れ、点検時以外は電源ブレーカーを切らない。

●冷媒漏えいを検出できなくなり、火災の原因となります。

再度使い始めるとき

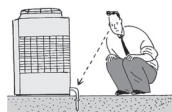
1 フィルターを清掃して、取付ける。



2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



■下記作業 ①~④ の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。(電源を入れる場合は、必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施ください。)

お願い

■アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないことを確認してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

● お手入れのしかた・困ったときに 移設・工事について

移設・廃棄について

警告

据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

●法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
●封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書あるいは銘板に記載されています。
●それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には据付けない。

●万が一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ(温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など)
熱交換器(アルミフィン、銅パイプ)などに腐食を起こすおそれがあります。

■機械油を使用するところ(加工油を用いプレスや切削をする機械工場など)

プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輛・船舶など移動するものへの設置

次の環境でのご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。(室内ユニット)

■食用油を使用するところ(厨房など)
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

■湿気の多いところ

冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械(高周波ウェルダ、医療機器、通信機器など)を使用するところ

通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ(美容室など)臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意(室外ユニット)

■海浜地区等塩分の多いところ

使用を避けるか、耐塩害/耐重塩害仕様室外ユニット(受注品)をお求めください。

■積雪の多いところ

室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。(別売として用意しています。)

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

注意

アース工事を行う

●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

注意

漏電遮断器を取付ける

●取付けていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大の原因になります。

長期間ご使用にならないとき

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(22ページ参照)へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- ユニット本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の保証はいたしません。

保証書

- 室内ユニットに保証書を添付しております。セットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”(17・18ページ参照)に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

- 保証期間中は修理に際して、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+(出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく (リモコンのエラー表示記号なども)
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
- 点検と保全周期の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ペアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスタ、圧力センサー、冷媒センサー ^{注3} など)		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3.シロキサンが多い場所(理・美容院)では冷媒センサーが検知できなくなる可能性がありますので、定期的なメンテナンスが必要です。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
 - ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。
(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ②電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所でご使用される場合(許容範囲外での使用はできません。)
 - ③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
 - ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)
- 消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

修理窓口・ご相談窓口のご案内 (冷熱品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機ビルテクノサービス株式会社)

●冷熱サービスコールセンター



なやみ いくよ
0570-783-194 (有料)

沖縄 (098) 866-1175

FAX

東日本

[北海道・東北・関東甲信越・
静岡県東部(富士川以东)]

(03) 3803-5290

西日本

[中部・静岡県西部(富士川以西)・
北陸・関西・中国・四国・九州]

(06) 6391-8545



三菱 ビルテクノ 業務用エアコン

検索

<https://www.meltec.co.jp/callcenter/callcenter.html>



2次元コードでも簡単に
アクセスできます。



〈IP電話の場合〉

東日本 (03)3803-1194

西日本 (06)6391-8531

※IP電話回線経由の場合に、ナビダイヤルに接続できないことがあります。
その際は、〈IP電話の場合〉の電話番号におかけください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機システムサービス株式会社)

●三菱電機修理受付センター



0120-56-8634 (無料)

携帯電話・PHSの場合



TEL 0570-01-8634 (有料)



<http://www.melsc.co.jp>



FAX 0570-03-8634 (有料)



空メールの送り先：fc8634@melsc.jp
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。



ご相談窓口 (三菱電機株式会社)

三菱電機空調ワンコールシステム

家庭用ルームエアコンおよび、店舗・事務所・ビルなどに
設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは

空調 24時間365日
0120-9-24365 (無料)

■技術相談 平日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00

■修理依頼 365日・24時間受付

■サービス部品の相談 365日・24時間受付

三菱電機冷熱相談センター

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談は

0037-80-2224 (無料)

〈携帯電話・PHS・IP電話の場合〉 **073-427-2224** (有料)

■電話 平日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00

■ファックス 365日・24時間受付 **0037-80-2229** (無料)
〈IP電話の場合〉 **073-428-2229** (有料)

※IP電話回線経由の場合に、フリーボイスに接続できないことがあります。
その際は、「IP電話の場合」の電話番号におかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

仕様

室内ユニット仕様表 ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

●PS-RP・KA13形

形名	50形	56形	63形	71形	80形	112形	140形	160形
騒音(PWL): 強-中-弱 dB	56-54-52		57-55-52			63-61-59		
風量: 強-中-弱 m ³ /min	14-13-12		15-14-13			30-27-24		
外形寸法(高さ×巾×奥行) mm	1700×470×270					1900×600×360		
質量 kg	35					49		

●フロンの見える化



室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン回収業者にフロン類の回収を依頼してください。室内機には、フロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体でのフロン類の数量は、室外機に表示されています。

●「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。目視による外観点検を3か月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検をお願いします。詳細は下記のサイトをご覧ください。

JARAC 一般社団法人 日本空調設備工業連合会 <http://www.jarac.or.jp/>

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	機器からの異常音、機器の外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有償)をお願いいたします。定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会

・JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>

・フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/>

様式1 冷媒漏えい点検記録簿(汎用版)

年 月 日 ~ 年 月 日

管理番号

施設所有者						設備製造者						
施設名称				系統名			設置年月日					
施設所在地				電話			使用機器	型式			製品区分	
運転管理責任者				電話				製番			設置方式	現地施工
点検事業者	会社名				責任者			用途	空調用		検知装置	
	所在地				電話			冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数(%)
使用冷媒	R32/R410A	初期充填量(kg)			点検周期	基準			実績(月)			
作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視・検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者		

愛情点検



●長年ご使用のエアコンは点検を!

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

▶

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名

電話() -

お買上げ(据付)日

年 月 日



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

三菱電機株式会社

静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

BH79D475H07